

令和 4 年度 近畿情報高等専修学校教育自己診断アンケート

調査結果報告書

令和 5 年 5 月 1 日

学校法人 東洋学園

近畿情報高等専修学校

< 目 次 >

I	調査の概要	
II	分類（I）学校教育自己診断アンケート（生徒用）	1
	1. 評価の観点からの集計・分析	
	(1) 評価の観点	
	(2) 観点別の集計・分析	
	①学校教育・生活の評価	②生徒・進路指導の評価
	③学校行事・課外活動の評価	④人権教育の評価
	⑤教員・学校設備の評価	⑥学校の特色の評価
III	分類（II）学校教育自己診断アンケート（教職員用）	5
	1. 評価の観点からの集計・分析	
	(1) 評価の観点	
	(2) 観点別の集計・分析	
	①教育活動に関するもの	②生徒に関するもの
	③学校経営に関するもの	
IV	分類（III）学校教育自己診断アンケート（保護者用）	8
	1. 評価の観点からの集計・分析	
	(1) 評価の観点	
	(2) 観点別の集計・分析	
	①教育活動に関するもの	②学校経営に関するもの

I 調査の概要

(1) 調査の名称

「令和4年度 学校教育自己診断アンケート」

(2) 調査方法

「質問紙法・無記名式」

(3) 調査期間

「令和5年1月11日（水）～ 令和5年3月18日（土）」

(4) 回答者数

生徒・・・ 472名

教職員・・・ 26名

保護者・・・ 331名

(5) 調査の概要

1. 生徒

- ①学校生活・授業の評価
- ②生活・進路指導の評価
- ③課外活動・行事の評価
- ④人権教育の評価
- ⑤教師・学校設備の評価
- ⑥学校の特色の評価

2. 教職員

- ①教育活動に関するもの
- ②学校経営に関するもの

3. 保護者

- ①教育活動に関するもの
- ②学校経営に関するもの

II 分類（I）学校教育自己診断アンケート（生徒用）

1. 評価の観点からの集計・分析

(1) 評価の観点の定義

生徒用のアンケートは、内容が多岐にわたっており、分析するにあたり、診断内容を1~11を①「学校生活・授業」 12~21を②「生活指導・進路指導」 22~29を③「課外活動・行事」 30~32を④「人権教育」 33~36を⑤「教師・学校設備」 37~40を⑥「学校の特色」に分類する。

(2) 観点別の集計・分析

分類：「学校生活・授業」、「生徒指導・進路指導」、「課外活動・行事」、「人権教育」、「教師・学校設備」、「学校の特色」を学年別に評価を集計し、それに基づき分析する。

学校教育自己診断アンケート（生徒用）集計（%）

分類	診 斷 内 容	学年	A	B	C	D
			そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
学校生活・授業	1 学校に行くのが楽しい。	1年	39.9%	40.3%	14.7%	5.1%
		2年	37.8%	38.2%	18.5%	5.5%
		3年	41.8%	41.5%	14.2%	2.5%
	2 自分の学級は楽しい。	1年	42.4%	45.5%	7.0%	5.1%
		2年	45.2%	39.5%	9.8%	5.5%
		3年	42.3%	40.9%	13.6%	3.2%
	3 私は、自分からあいさつをしている。	1年	25.1%	39.7%	28.2%	7.0%
		2年	23.6%	43.2%	24.6%	8.6%
		3年	28.1%	52.5%	16.2%	3.2%
	4 授業はわかりやすく楽しい。	1年	25.8%	55.1%	13.4%	5.7%
		2年	22.9%	48.1%	25.3%	3.7%
		3年	25.5%	52.5%	16.2%	5.8%
生活指導・進路指導	5 授業を進める速さはちょうどよい。	1年	30.3%	51.2%	12.8%	5.7%
		2年	28.6%	45.6%	19.1%	6.7%
		3年	27.4%	51.9%	17.5%	3.2%
	6 授業でわからないことについて、先生に質問しやすい。	1年	31.5%	50.0%	10.2%	8.3%
		2年	27.9%	43.8%	23.4%	4.9%
		3年	32.6%	47.4%	15.5%	4.5%
	7 私は、態度よく集中して授業を受けることができる。	1年	29.6%	53.2%	13.4%	3.8%
		2年	24.2%	52.4%	19.7%	3.7%
		3年	35.9%	38.9%	17.5%	7.7%
	8 私は、板書をしっかりノートにとっている。	1年	54.0%	37.1%	7.0%	1.9%
		2年	42.1%	41.9%	14.8%	1.2%
		3年	47.0%	37.6%	11.6%	3.8%
	9 私は、レポート・課題を忘れず期限までに提出している。	1年	48.9%	38.4%	7.6%	5.1%
		2年	45.8%	32.7%	15.4%	6.1%
		3年	53.4%	29.8%	11.0%	5.8%
	10 先生は、学習で自分が努力したことを認めてくれる。	1年	36.7%	51.9%	8.9%	2.5%
		2年	30.4%	48.7%	16.6%	4.3%
		3年	41.7%	40.2%	16.2%	1.9%
	11 学習の評価については、納得できる。	1年	45.7%	46.7%	5.7%	1.9%
		2年	36.6%	42.5%	16.6%	4.3%
		3年	44.3%	40.9%	12.3%	2.5%
生活指導・進路指導	12 悩みや相談に親身になって応じてくれる先生が多い。	1年	42.5%	43.5%	10.8%	3.2%
		2年	34.1%	45.6%	15.4%	4.9%
		3年	39.2%	42.8%	12.9%	5.1%
	13 先生はいじめなど私たちが困っていることについて真剣に対応してくれる。	1年	45.0%	42.3%	10.2%	2.5%
		2年	37.8%	45.0%	13.5%	3.7%
		3年	39.8%	42.8%	14.2%	3.2%
	14 担任の先生以外にも保健室や相談室等で、気軽に相談することができる先生がいる。	1年	40.0%	44.8%	10.8%	4.4%
		2年	31.7%	46.0%	16.9%	5.4%
		3年	34.5%	43.5%	17.5%	4.5%
生活指導・進路指導	15 私は、校則や決まりをよく守っている。	1年	50.1%	41.6%	3.2%	5.1%
		2年	42.8%	40.1%	10.4%	6.7%
		3年	45.6%	40.2%	11.0%	3.2%
	16 学校生活についての先生の指導は納得できる。	1年	46.3%	42.9%	8.3%	2.5%
		2年	36.6%	45.0%	13.5%	4.9%
		3年	37.2%	46.7%	10.3%	5.8%

学校教育自己診断アンケート（生徒用）集計（%）

分類	診 斷 内 容	学年	A	B	C	D
			そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらか といえば そう思わない	そう 思わない
生活指導・進路指導	17 学校は、生活規律や学習規律などの基本的習慣を身につけるよう力を入れている。	1年	38.6%	48.7%	8.9%	3.8%
		2年	34.0%	50.0%	11.1%	4.9%
		3年	38.5%	44.1%	12.3%	5.1%
	18 将来の進路や生き方について考える機会がある。	1年	54.6%	36.5%	5.1%	3.8%
		2年	47.0%	41.3%	7.4%	4.3%
		3年	49.5%	39.6%	7.7%	3.2%
	19 進路に関する情報は十分に提供されている。	1年	43.2%	46.7%	8.9%	1.2%
		2年	37.8%	44.4%	10.4%	7.4%
		3年	58.6%	35.0%	5.8%	0.6%
	20 進路指導室は利用しやすい。	1年	17.5%	54.4%	17.3%	10.8%
		2年	20.4%	50.0%	18.5%	11.1%
		3年	41.7%	42.2%	9.0%	7.1%
	21 ホームルーム活動は活発である。	1年	35.3%	41.0%	17.3%	6.4%
		2年	25.4%	48.1%	17.9%	8.6%
		3年	32.0%	43.5%	16.8%	7.7%
課外活動・行事	22 ボウリング大会は楽しい。	1年	66.2%	27.5%	1.9%	4.4%
		2年	53.8%	30.2%	8.0%	8.0%
		3年	57.4%	25.9%	9.0%	7.7%
	23 文化祭は楽しい。	1年	50.2%	37.1%	10.2%	2.5%
		2年	33.4%	43.2%	17.9%	5.5%
		3年	37.8%	48.7%	11.0%	2.5%
	24 修学旅行は楽しい。	1年				
		2年	48.2%	43.2%	8.0%	0.6%
		3年	58.0%	27.2%	7.1%	7.7%
	25 私は、スポーツ大会や文化祭等の行事に積極的に参加している。	1年	50.8%	27.5%	15.3%	6.4%
		2年	42.2%	31.4%	19.7%	6.7%
		3年	46.3%	29.8%	16.8%	7.1%
	26 もっと興味のある行事を増やしてほしい。	1年	59.8%	24.3%	12.1%	3.8%
		2年	53.3%	20.9%	16.0%	9.8%
		3年	48.2%	31.1%	12.3%	8.4%
	27 クラブ活動は活発である。	1年	40.5%	39.1%	13.4%	7.0%
		2年	24.9%	58.6%	14.1%	2.4%
		3年	31.3%	48.7%	14.2%	5.8%
	28 私は、生徒会・クラブ活動に積極的に取り組んでいる。	1年	36.6%	41.0%	12.8%	9.6%
		2年	23.6%	40.7%	20.9%	14.8%
		3年	32.0%	40.9%	15.5%	11.6%
	29 近情タイムズは、学校の様子がよくわかる。	1年	31.6%	46.7%	13.4%	8.3%
		2年	21.7%	51.2%	19.7%	7.4%
		3年	23.5%	48.7%	19.4%	8.4%
人権教育	30 命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会がある。	1年	47.0%	49.3%	2.5%	1.2%
		2年	40.9%	40.1%	13.5%	5.5%
		3年	39.8%	40.9%	14.2%	5.1%
	31 人権について学ぶ機会がある。	1年	46.9%	46.1%	5.1%	1.9%
		2年	35.3%	40.1%	17.9%	6.7%
		3年	34.6%	43.5%	16.8%	5.1%
	32 学校で、男女は平等に扱われている。	1年	47.0%	41.0%	7.6%	4.4%
		2年	24.8%	50.0%	18.5%	6.7%
		3年	38.4%	44.8%	11.0%	5.8%

学校教育自己診断アンケート（生徒用）集計（%）

分類	診 斷 内 容	学年	A	B	C	D
			そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
教師・学校設備	33 先生は、お互いに協力し合っている。	1年	50.1%	48.0%	1.9%	0.0%
		2年	32.9%	45.6%	13.5%	8.0%
		3年	36.5%	42.8%	13.6%	7.1%
	34 先生は、責任をもって、授業やその他の仕事に当たっている。	1年	45.6%	50.0%	3.2%	1.2%
		2年	35.3%	43.8%	12.3%	8.6%
		3年	37.2%	42.2%	14.2%	6.4%
	35 学校で、事件・地震や火災などがおこった場合、どう行動したらよいか、知らされている。	1年	52.0%	45.5%	2.5%	0.0%
		2年	47.0%	39.5%	9.2%	4.3%
		3年	40.4%	44.1%	12.3%	3.2%
学校の特色	36 学校の施設や設備、学校で使う道具や器具がこわれたときは、すぐに修理したり、取り替えたりしてくれる。	1年	33.4%	53.8%	9.6%	3.2%
		2年	36.0%	46.2%	9.8%	8.0%
		3年	33.9%	45.4%	9.7%	11.0%
	37 この学校には、他の学校にない特色がある。	1年	45.7%	43.5%	7.6%	3.2%
		2年	42.7%	38.2%	11.1%	8.0%
		3年	52.8%	33.7%	7.1%	6.4%
	38 学校は、資格・検定の取得に力を入れている。	1年	46.3%	49.3%	4.4%	0.0%
		2年	43.3%	44.4%	7.4%	4.9%
		3年	45.0%	38.9%	14.2%	1.9%
	39 ビデオ、スライドなどの視聴覚機器やコンピュータなどを使う機会がよくある。	1年	59.1%	36.5%	4.4%	0.0%
		2年	50.1%	39.5%	5.5%	4.9%
		3年	48.3%	37.6%	10.3%	3.8%
	40 授業などで、豊かな心や人の生き方について考える機会がある。	1年	38.6%	47.4%	9.6%	4.4%
		2年	32.3%	47.5%	13.5%	6.7%
		3年	33.9%	44.8%	14.2%	7.1%

生徒からの学校教育自己評価の分析

①「学校生活・授業」1~11

項目1、2については毎年好意的な評価を頂いている。「生徒を楽しませてあげたい」「生徒を飽きさせない」このような学校の方針に沿って学年や教科においての準備、様々な工夫が成果となって表れている。項目3については学年別にみると昨年同様少しづつはあるが、段階的に自信が持てるようになってきている傾向にある。礼儀・礼節や集団生活における基本的なマナーが身に付けられるよう引き続き取り組んでいきたい。項目4~11についての授業に関する項目であるが、全体的に昨年度に比べて好意的な評価が多い傾向となっている。各教科においてオンラインシステムGoogle ドライブ等から動画を活用するなど、授業においての工夫が成果として現れているように思える。1学年においては新学習指導要領に沿って各教科がこれまで準備計画してきた指導計画が一定の結果を出すことができたと考える。

②「生活指導・進路指導」12~21

項目12~17についての生活指導に関する項目については学年別にみると特に1年生での回答が好意的であった。これは入学式以降、ガイダンスから宿泊研修において教員との関わりや本校の教育方針について理解をしてもらうための取り組みについて成果が表れる形となっている。項目18~21については土曜学習等の進路に向けた取り組みや各学年で実施する進路ガイダンス・就職ガイダンス等、全学年において進路への意識啓発が成果となっている。

③「課外活動・行事」22~29

特に項目22~24では比較的好意的な数値である。令和4年度の修学旅行は昨年延期となつたため、5月に3年生、9月に2年生が実施することとなった。文化祭においてもテーマを「復活」とし、昨年度は実施できなかった模擬店を出店することができた。ボウリング大会を含め生徒にとっては楽しい行事であったことは数値からも受け取れる。項目25、26については令和3年度、初めての行事として始まった「近畿情報スポーツ大会」は令和4年度、ラクタブドームにて実施した。昨年度の反省点・改善点を踏まえ、昼休憩に軽音楽部の演奏タイムを取り入れるなど奇抜な取り組みにより、生徒も大いに盛り上がったことが結果としてあらわれている。項目27、28のクラブ活動については、昨年、中止とされていた全国大会が各クラブで実施されたこともあり、感染対策と並行しながらも活動することができた。特に軽音楽部の全国大会優勝については、生徒に対しても何かに挑戦する上の大きな影響を与えていたことがわかる。

④「人権教育」30~32

重要な項目である30「命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会がある」という質問に対しては否定的な意見がなくなるよう学年ごとに「いじめ」「差別」「障害について」等、様々な状況や立場を課題としながら日常の全ての時間を通じて生徒に理解させ、伝わるように行うことが重要であると考える。

⑤「教師・学校設備」33~36

教員についての項目33、34についての回答は昨年に比べて肯定的な数値が高くなっている。学年としての協力体制が生徒に対して目に見える結果となっている。教員の姿が生徒に与える影響は大きい。今後も協働する意識を高めたい。

⑥「学校の特色」37~40

概ね好意的評価を得ている。項目37については好意的な数値となっている。音楽コースの設置や資格取得を目指したPCルームの活用。共有ドライブなどICTの活用が発展的に実施されていることがわかる結果となっている。項目38についても教科において授業だけでなく資格取得に向けた取り組みや実績が資格取得への意識向上として成果になって表れている。項目40については重要な項目として捉えている。昨年度に続き数値は改善しているが、否定的な意見をなくすことが重要だと捉える。本校では教員自身の「生き方」「在り方」姿を通して生徒に伝わるように生徒と共に「考える」機会を多く持てるよう模索していきたい。

III 分類(II) 学校教育自己診断アンケート(教職員用)

1. 評価の観点からの集計・分析

(1) 評価の観点

教職員用アンケートについて、診断内容の1~33を「教育活動に関するもの」、34~56を「学校経営に関するもの」とし、この2つの観点から分析する。

(2) 観点別の集計・分析

「教育活動に関するもの」、「学校運営に関するもの」を評価集計し、分析する。

教職員用学校教育自己診断アンケート集計(%)

1 教育活動に関するもの

	診 斷 内 容	A	B	C	D
		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
1	学校の教育課程について、教職員で日常的に話し合っている。	31.0%	57.6%	7.6%	3.8%
2	各年度の教育計画の作成に当たって、教職員で話し合っている。	38.6%	53.8%	7.6%	0.0%
3	この学校の教育活動には、他の学校にない特色がある。	23.3%	57.6%	15.3%	3.8%
4	教育活動全般にわたる評価を行い、次年度の計画に生かしている。	34.8%	53.8%	3.8%	7.6%
5	教員は生徒の意見をよく聞いている。	46.3%	46.1%	7.6%	0.0%
6	学校は、教育活動全般について、生徒や保護者の願いに応えている。	38.6%	57.6%	3.8%	0.0%
7	年間の学習指導計画について、各教科で話し合っている。	31.0%	53.8%	7.6%	7.6%
8	各教科において、教材の精選・工夫を行っている。	57.8%	38.4%	3.8%	0.0%
9	この学校では少人数指導を取り入れるなど、指導方法の工夫・改善に努めている。	34.8%	53.8%	7.6%	3.8%
10	指導内容について、他の教科の担当者と話し合う機会がある。	46.3%	46.1%	7.6%	0.0%
11	この学校では、創意工夫を生かした総合的な探求の時間を実施している。	34.7%	50.0%	11.5%	3.8%
12	思考力を重視した問題解決的な学習指導を行っている。	38.6%	46.1%	11.5%	3.8%
13	生徒の実態をふまえ、基礎学習を行うなど、指導方法の工夫・改善を行っている。	42.0%	42.3%	7.6%	0.0%
14	グループ学習を行うなど、学習形態の工夫・改善を行っている。	30.9%	19.2%	30.7%	19.2%
15	この学校では、到達度の低い生徒に対する学習指導について、全校的課題として取り組んでいる。	42.4%	42.3%	11.5%	3.8%
16	生徒の学習意欲に応じて、学習指導の方法や内容について工夫している。	38.6%	50.0%	3.8%	7.6%
17	評価の在り方について話し合う機会がある。	42.4%	46.1%	11.5%	0.0%
18	この学校では、カウンセリングマインドを取り入れた生徒指導を行っている。	27.1%	53.8%	15.3%	3.8%
19	生徒による問題行動が起こった時、組織的に対応できる体制が整っている。	34.7%	42.3%	19.2%	0.0%
20	様々な問題行動の防止のための早期指導に学校全体で取り組んでいる。	19.4%	65.3%	11.5%	3.8%
21	教育相談体制が整備されており、生徒は学級担任以外の教職員とも相談することができる。	42.4%	46.1%	11.5%	0.0%
22	この学校では、生徒指導において、家庭との連携ができている。	30.9%	53.8%	11.5%	3.8%
23	生徒指導において、警察・少年サポートセンター・子ども家庭センター等の関係諸機関との連携ができている。	34.7%	50.0%	11.5%	0.0%
24	校則が、生徒の実態や人権尊重の立場から適切であるかについて、教職員の間で話し合う機会がある。	31.0%	53.8%	7.6%	7.6%
25	生徒一人ひとりが興味・関心、適性に応じて進路選択ができるよう、きめ細かい情報提供を行っている。	57.8%	38.4%	3.8%	0.0%
26	ホームルーム活動を主とした学校経営の改善に、学級や学年、学校全体で取り組んでいる。	42.5%	46.1%	3.8%	7.6%
27	学校行事が生徒にとって魅力あるものとするために、工夫・改善を行っている。	42.5%	38.4%	15.3%	3.8%
28	学校行事活動を通じて、主体的に活動できるよう学校全体で支援している。	38.6%	53.8%	3.8%	3.8%
29	学校として、部活動の活性化について工夫している。	54.0%	30.7%	15.3%	0.0%
30	この学校は、情報リテラシーを高める教育に取り組んでいる。	34.7%	50.0%	11.5%	3.8%

教職員用学校教育自己診断アンケート集計 (%)

1 教育活動に関するもの

	診 斷 内 容	A	B	C	D
		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
31	教育活動において、生徒に社会規範や市民道徳を守る意識が育まれる機会をつくるよう配慮している。	27.0%	42.3%	26.9%	3.8%
32	教育活動において、奉仕等の体験学習やボランティア活動が活発に行われている。	19.4%	57.6%	19.2%	0.0%
33	人権尊重に関する様々な課題や指導方法について、全教職員で話し合っている。	42.4%	50.0%	3.8%	3.8%

教職員用学校教育自己診断アンケート集計 (%)

2 学校運営に関するもの

	診 斷 内 容	A	B	C	D
		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
34	本校の教育理念や学校運営についての考え方を教職員が理解している。	34.7%	61.5%	3.8%	0.0%
35	教職員の適性・能力に応じた校内人事や校務分掌の分担がなされている。	34.8%	57.6%	7.6%	0.0%
36	各分掌が学校運営のなかで重要な役割をはたしている。	30.9%	65.3%	3.8%	0.0%
37	各分掌や各学年間の連携が円滑に行われている。	46.3%	46.1%	3.8%	3.8%
38	職員会議をはじめ各種会議が、情報交換と課題検討の場として機能している。	42.4%	50.0%	3.8%	3.8%
39	教職員間の相互理解がなされ、信頼関係に基づいて教育活動が行われている。	46.3%	46.1%	7.6%	0.0%
40	日々の教育活動における問題意識や悩みについて、気軽に相談し合えるような職場の人間関係ができている。	34.8%	53.8%	3.8%	7.6%
41	この職場においては、教職員の服務規律への自覚がある。	38.6%	50.0%	7.6%	3.8%
42	事故・事件、災害等に対して迅速かつ適切な対処ができるよう、役割分担が明確化されている。	31.0%	57.6%	7.6%	3.8%
43	学校予算は一定のルールに基づき、適切に編成・執行されている。	38.5%	50.0%	11.5%	0.0%
44	この学校では、生徒の生活の場として、ゆとりと潤いのある教育環境作りに努力している。	34.8%	57.6%	3.8%	3.8%
45	この学校では、清掃がいきとどいている。	38.6%	50.0%	7.6%	3.8%
46	施設・設備について日常的に点検や管理が行われている。	38.6%	50.0%	7.6%	0.0%
47	コンピュータ等の情報機器が、授業などで活用されている。	34.8%	57.6%	3.8%	3.8%
48	初任者等、経験の少ない教職員の育成に努めている。	19.4%	61.5%	15.3%	3.8%
49	学校内で他の教員の授業を見学する機会がある。	42.4%	42.3%	15.3%	0.0%
50	教員の間で、授業方法等について検討する機会を設けている。	30.9%	53.8%	11.5%	3.8%
51	公文書の収受、発送、保管に対する管理がなされている。	30.9%	50.0%	15.3%	0.0%
52	指導要録の記入、点検が適正に行われている。	42.5%	46.1%	3.8%	7.6%
53	個人情報保護の観点から、生徒の個人情報に関する管理システムが確立されている。	34.8%	38.4%	19.2%	7.6%
54	教育活動に必要な情報について、教職員や生徒・保護者への周知に努めている。	46.3%	46.1%	7.6%	0.0%
55	保護者や地域の人々と接する機会を設けている。	23.3%	57.6%	15.3%	3.8%
56	中学校との連携の機会を設け、教育活動全般に生かしている。	34.8%	53.8%	7.6%	3.8%

教職員からの学校教育自己評価の分析

1、教育活動に関するもの 1～33

殆どの質問に対して、比較的好意的な評価が出ている。項目6～8については入学当初の5月より家庭訪問や懇談の実施など直接保護者と情報を共有することで生徒ひとりひとりに寄り添える基盤となっている。項目7については新学習指導要領の実施に伴い、協議を重ねる結果が付随したものと捉える。項目12については同じく新学習指導要領から観点別評価、3観点における「思考力・判断力・主体的に取り組む態度」の本校における評価の在り方について各教科が工夫を重ねることで得られた結果であると捉えている。項目14については感染症対策を考えグループ学習を実施することは手段として難しかったものと思われる。項目21～23信頼関係についての項目だが、好意的な評価が多い傾向である。教員が積極的に生徒と関わり、生徒の状況や様子を保護者と共有することが重要なことである。このような認識を教員一人ひとりが持っていることが数値となって表れている。教育活動については授業力向上委員会の活性化により、教員がそれぞれの向上心を持ち、目標達成に向けて協働することであらゆる教育活動についての向上に引き続き取り組んでいく。

2、学校運営に関するもの 34～56

学校設備面では殆どの項目で概ね好意的評価である。

昨年度に続き生徒の健康面、安全面から要所に空気清浄機の設置。教育機器については各教室に配置しているプロジェクターの発展的活用や共有ドライブの利用が好意的な評価の理由であると捉えている。項目49においては授業力向上委員会の下、指導教官制により活発に実施されていることがわかる。

IV 分類(III) 学校教育自己診断アンケート(保護者用)

1. 評価の観点からの集計・分析

(1) 評価の観点

保護者用アンケートについて、診断内容の1~20を「教育活動に関するもの」20~30を「学校運営に関するもの」とし、この2つの観点から分析する。

(2) 観点別の集計・分析

「教育活動に関するもの」、「学校運営に関するもの」を評価集計し、それに基づき分析する。

保護者用学校教育自己診断アンケート集計(%)

1 教育活動に関するもの

	診 斷 内 容	学年	A	B	C	D
			そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
1	子どもは学校へ行くのを楽しみにしている。	1年	40.7%	42.5%	8.9%	7.9%
		2年	38.4%	39.2%	17.6%	4.8%
		3年	34.4%	51.4%	11.4%	2.8%
2	子どもは、自分の学級が楽しいと言っている。	1年	42.7%	45.5%	9.9%	1.9%
		2年	35.2%	52.0%	10.4%	2.4%
		3年	34.4%	55.2%	6.6%	3.8%
3	学校の雰囲気がよく、生徒が生き生きしている。	1年	38.8%	44.5%	14.8%	1.9%
		2年	35.2%	44.0%	18.4%	2.4%
		3年	23.0%	63.8%	10.4%	2.8%
4	先生は子どもを理解している。	1年	52.7%	40.5%	5.9%	0.9%
		2年	35.2%	49.6%	12.8%	2.4%
		3年	46.8%	38.0%	13.3%	1.9%
5	学校は、保護者の願いにこたえている。	1年	38.7%	55.4%	5.9%	0.0%
		2年	32.8%	58.4%	8.8%	0.0%
		3年	29.6%	60.9%	7.6%	1.9%
6	通知表は、子どもの学力や達成度をわかりやすく表すように工夫されている。	1年	42.7%	55.4%	1.9%	0.0%
		2年	32.0%	51.2%	16.8%	0.0%
		3年	31.6%	56.1%	10.4%	1.9%
7	先生は子どもの評価を適切・公平に行っている。	1年	50.6%	47.5%	1.9%	0.0%
		2年	41.6%	45.6%	12.8%	0.0%
		3年	26.9%	58.0%	14.2%	0.9%
8	学校は、保護者の相談に適切に応じてくれる。	1年	52.5%	47.5%	0.0%	0.0%
		2年	42.4%	45.6%	12.0%	0.0%
		3年	42.1%	46.6%	10.4%	0.9%
9	先生は子どもの間違った行動を厳しく指導してくれる。	1年	45.7%	50.4%	3.9%	0.0%
		2年	44.8%	49.6%	4.8%	0.8%
		3年	33.5%	54.2%	9.5%	2.8%
10	学校はいじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる。	1年	46.7%	51.4%	1.9%	0.0%
		2年	36.0%	56.0%	6.4%	1.6%
		3年	40.1%	53.3%	6.6%	0.0%
11	子どもの心身の健康について、気軽に先生に相談できる。	1年	49.6%	49.5%	0.9%	0.0%
		2年	40.0%	47.2%	12.0%	0.8%
		3年	28.7%	59.0%	10.4%	1.9%
12	学校の生徒指導の方針に共感できる。	1年	46.7%	45.5%	5.9%	1.9%
		2年	41.6%	48.0%	7.2%	3.2%
		3年	35.4%	50.4%	12.3%	1.9%
13	学校は将来の進路や職業などについて適切な指導を行っている。	1年	38.8%	54.4%	4.9%	1.9%
		2年	37.6%	50.4%	9.6%	2.4%
		3年	42.0%	51.4%	4.7%	1.9%
14	進路指導面で、学校は家庭への進路や意思疎通を、きめ細かく行っている。	1年	37.7%	48.5%	9.9%	3.9%
		2年	34.4%	44.8%	17.6%	3.2%
		3年	32.6%	52.3%	12.3%	2.8%
15	学校は、進路に関して、家庭への連絡や適切な情報提供を行っている。	1年	37.8%	46.5%	11.8%	3.9%
		2年	31.2%	52.8%	15.2%	0.8%
		3年	37.3%	50.4%	10.4%	1.9%
16	文化祭やスポーツ大会・宿泊行事などの学校行事は、積極的に参加できるよう工夫されている。	1年	43.8%	50.4%	3.9%	1.9%
		2年	36.8%	53.6%	9.6%	0.0%
		3年	38.3%	46.6%	12.3%	2.8%

保護者用学校教育自己診断アンケート集計 (%)

1 教育活動に関するもの

診 斷 内 容	学年	A	B	C	D
		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
17 この学校のクラブ活動は活発である。	1年	25.0%	51.4%	20.7%	2.9%
	2年	32.0%	42.4%	16.8%	8.8%
	3年	31.6%	47.6%	16.1%	4.7%
18 学校は子どもに生命を大切にする心や社会ルールを守る態度を育てようとしている。	1年	42.8%	51.4%	4.9%	0.9%
	2年	40.0%	52.0%	8.0%	0.0%
	3年	36.3%	54.2%	9.5%	0.0%
19 子どもは、学校に友達がいるといっている。	1年	53.7%	41.5%	1.9%	2.9%
	2年	47.2%	32.8%	13.6%	6.4%
	3年	47.7%	41.9%	8.5%	1.9%
20 学校は、子どもに人権を尊重する意識を育てようとしている。	1年	42.8%	52.4%	2.9%	1.9%
	2年	34.4%	48.0%	16.8%	0.8%
	3年	42.0%	48.5%	7.6%	1.9%

保護者用学校教育自己診断アンケート集計 (%)

2 学校運営に関するもの

診 断 内 容	学年	A	B	C	D
		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
21 地震や台風などの場合の対応については、子どもや保護者に行動マニュアルが知らされている。	1年	42.8%	50.4%	5.9%	0.9%
	2年	40.8%	44.8%	13.6%	0.8%
	3年	40.1%	50.4%	9.5%	0.0%
22 学校の施設・設備は学習環境面ではほぼ満足できる。	1年	37.7%	47.5%	14.8%	0.0%
	2年	37.6%	44.8%	16.8%	0.8%
	3年	32.5%	51.4%	14.2%	1.9%
23 学校は施設・設備を有効に利用している。	1年	45.7%	50.4%	3.9%	0.0%
	2年	38.4%	45.6%	15.2%	0.8%
	3年	39.2%	45.7%	14.2%	0.9%
24 学校は、防災や防犯、事故防止に配慮し、施設・設備の点検を行っている。	1年	44.7%	51.4%	3.9%	0.0%
	2年	35.2%	48.8%	15.2%	0.8%
	3年	34.4%	53.3%	10.4%	1.9%
25 学校は、保護者や地域の人が授業を参観する機会を設けている。	1年	42.7%	49.5%	6.9%	0.9%
	2年	36.8%	40.8%	20.0%	2.4%
	3年	32.5%	49.5%	16.1%	1.9%
26 学校は、家庭への連絡や意思疎通を積極的に行っている。	1年	48.7%	43.5%	5.9%	1.9%
	2年	37.6%	51.2%	9.6%	1.6%
	3年	34.4%	53.3%	10.4%	1.9%
27 学校が保護者に出す文書・事務連絡等は適切である。	1年	46.7%	45.5%	6.9%	0.9%
	2年	37.6%	46.4%	13.6%	2.4%
	3年	35.4%	52.3%	10.4%	1.9%
28 学校では子どもに関する個人情報が守られている。	1年	56.5%	43.5%	0.0%	0.0%
	2年	42.4%	48.8%	7.2%	1.6%
	3年	38.2%	53.3%	7.6%	0.9%
29 学校は、教育情報について、提供の努力をしている。	1年	35.8%	58.4%	4.9%	0.9%
	2年	36.0%	47.2%	16.0%	0.8%
	3年	31.6%	52.3%	13.3%	2.8%
30 学校では、保護者や地域の人たちと話をする機会を設けている。	1年	40.8%	42.5%	15.8%	0.9%
	2年	44.0%	33.6%	17.6%	4.8%
	3年	44.0%	37.1%	12.3%	6.6%

保護者からの学校教育自己評価の分析

1 教育活動に関するもの 1~20

全般的に高い好意的評価を頂いている。各学年の下、担任が家庭訪問や懇談を実施し、早い段階で保護者と連携することにより、生徒の状態の把握そして本校の教育活動の方針等、双方での情報共有を重ねることで誠意が伝わる結果となっている。教科においても1年生は特に中間考査の結果で、各教科における様々な工夫や取り組みが生徒だけではなく保護者に対しての安心感につながる結果となっている。

2 学校運営に関するもの 21~30

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症に関する方針、対策が弾力的に見直す取り組みが主に為されるかたちとなった。生徒の健康面を考慮し、安心・安全に実施するための連絡や注意喚起が理解される結果となっている。さらに生徒の様子がわかるよう各学年ごとに授業参観や保護者懇談会、オンラインシステムGoogleクラスマップの活用等、保護者に安心して頂けるよう実施している。多くの保護者に来校して頂けるように今後も取り組んでいく。

[総括]

本校に入学して頂いた生徒に対して三年間で如何に成長をさせ、社会に役立つ青年として育成し、卒業に導いていくかということが最も重要な課題である。令和4年度は新型コロナウイルス感染症対策により、制限されていた教育活動を如何に実施するかという点で様々な対応を図ってきた。結果、令和3年度に延期となっていた、2年生の修学旅行については令和4年度に無事、実施することができた。さらに第2回となった「近畿情報スポーツ大会」においても前年度を踏襲することなく場所やプログラムの変更、軽音楽部の応援、演奏など新しい取り組みを取り入れ、生徒が楽しんで参加できる行事の進化、実施に取り組んできたことが大きな基盤となった。さらに生産年齢人口の減少、グローバル化の進展や絶え間ない技術革新により、社会構造や雇用環境の急激な変化。このような社会の中で対応できるよう資質・能力の育成を2022年度の新学習指導要領を本校の教育方針を反映したかたちで実施。また、オンラインシステムGoogleエデュケーションについても引き続き、生徒との情報共有や学級運営、教科指導、教務事務、進路指導等、様々な場面において本校の方針に則した発展的活用方法について今後とも模索していく。学校運営については教務部との連携により授業力向上委員会の下、教員の授業力においては着実に成果が表れている。ただ年々生徒自身が学習、対人等不安を感じやすい傾向にあり、自己肯定感が低い生徒が多くなってきていることがアンケート結果からも見て取れる。生徒自身がしっかりと目標を見つけ、達成し、それにより自信を持って次のステップに進められるよう引き続き、きめ細かな指導を重ねることが重要であると考える。これらの課題とともに教員の人材育成も含め各活動の向上に引き続き取り組んでいきたい。